

幌延町多世代交流施設整備事業基本計画・基本設計業務公募型プロポーザルに係る
優先交渉者等の決定について

令和7年7月8日

標記業務に係る公募型プロポーザルを実施し、下記のとおり優先交渉者等を決定したので、お知らせいたします。

1 一次審査結果について

令和7年5月20日から5月30日までの間に、7社から提出を受けた参加表明書等について、技術提案書等の提出者を選定するため、標記プロポーザル選定審査会事務局において、実施要領別紙3で定める基準に基づく要件の確認及び評価を実施。実施後、審査委員の同意を得て、下記のとおり町へ報告する。

報告を受け、令和7年6月9日、町において技術提案書等の提出者を下記のとおり決定する。

(単位：点)

区 分	A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社
事務所の評価	20	20	20	20	20	20	0
業務実施体制 の評価	27	30	24	30	30	20	27
合 計	47	50	44	50	50	40	27
結 果	選定	選定	選定	選定	選定	選定	非選定

※G社は、実施要領第5で定める参加資格のうち(3)参加表明者の同種業務及び類似業務の実績に関する要件を満たさないため非選定とした。

2 二次審査結果について

一次審査で選定した6社から提出を受けた技術提案書等について、令和7年7月7日午前9時から、幌延町役場大会議室において、標記プロポーザル選定審査会によるヒアリングを実施。

実施後、各審査委員の評価結果の集計を基に、選定審査会での審議により優先交渉者等を特定した旨町に報告。

翌、令和7年7月8日、町において、優先交渉者及び次点交渉者を下記のとおり決定する。

(1) 評価及び審査対象

6社

(2) 審査会開催日時

令和7年7月7日、午前8時40分から午後4時30分まで。

(3) 開催場所

幌延町役場大会議室

(4) 審査会出席者 11名

区 分 等	所 属	職 名 等	氏 名
外部有識者	北海学園大学	工学部長/建築学科 教授	植松 武是
行政	幌延町役場	副町長	岩川 実樹

区分等	所属	職名等	氏名
行政	幌延町役場	保健福祉課長	島田 幸司
		保健福祉課長補佐（保健）	山本 恵美
		保健福祉課社会福祉係長	清水 和也
		保健福祉課保健推進係長	長山 美保
		保健福祉課包括支援係長	千葉 真寿美
		保健福祉課居宅介護支援係長	澤 智子
		産業建設課長	角山 隆一
		産業建設課補佐（建設管理）	若杉 忍
		総務企画課長	早坂 敦

（５）審査結果

（単位：点）

区分	A社	B社	C社	D社	E社	F社
1次審査	517/550	550/550	484/550	550/550	550/550	440/550
2次審査	894/1100	788/1100	728/1100	831/1100	821/1100	776/1100
合計	1411/1650	1338/1650	1212/1650	1381/1650	1371/1650	1216/1650
審査結果	優先交渉者			次点交渉者		

（６）審査の講評

はじめに、幌延町多世代交流施設の実現に向け、短い時間の中で、幌延町交流拠点基本構想に基づくプランを真摯にご検討いただいた各提案社に対し、貴重なお時間と労力を費やしていただきましたことに厚くお礼申し上げます。

さて、本施設は、町民の利便性を高める生活支援機能の他、保健福祉や高齢者福祉、交通拠点機能や防災機能等の複数の機能を併せ持つ複合施設で、四つの特定テーマに基づき建設位置や必要な諸室の配置、ZEB化に向けた取り組み等について、それぞれが設定したコンセプトに基づきご提案いただきました。

どの案も、これまで培ってきた経験に基づく提案内容で、評価や審査に苦慮しましたが、優先交渉者として特定した案は提案内容が明確であり、多様な世代が気軽に集う場となる諸室やスペースを、自然光を取り入れてつくる「ひかりのみち」によって繋ぐコンセプトが高く評価されました。また、施設の構造に適度に木材を取り入れ、周辺に位置する公園等との一体的な利用や交通拠点機能における配置計画や考え方等も高く評価されました。

（７）優先交渉者の決定結果

- ① 決定日 令和7年7月8日
- ② 優先交渉者
札幌市中央区北2条東4丁目1番地2
株式会社 アトリエブंक
代表取締役 菅沼秀樹
- ③ 次点交渉者
札幌市中央区北1条東3丁目1番地1
北電総合設計 株式会社
代表取締役社長 藪 正樹